

# ◇ 標準塗装仕様書

AGCコーテック株式会社

◇工法名	ボンフロン水性クリヤーコート工法		
◇適用素地	打放しコンクリート下地		
◇使用材料	下塗	ボンフロン水性ACガードコート	15 kg/缶
	中塗	ボンフロン水性ACミドルコート	15 kg/缶
	上塗1	ボンフロン水性SRラストコートⅡ	13 kg/缶

工程	使用材料 <sup>注3</sup>	希釈率 (%)	標準所要量 <sup>注1</sup> (kg / m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔 (23°C)		施工方法	
					工程内	工程間		
素地調整	被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れ等を除去する。ジャンカ・コールドジョイントの下地処理など。							
1	下塗	ボンフロン水性ACガードコート <sup>注2</sup>	清水 0	0.12 ~ 0.18 0.13 ~ 0.20	1	-	16h以上	刷毛 ローラー スプレー
2	中塗	ボンフロン水性ACミドルコート	清水 0	0.10 ~ 0.15 0.11 ~ 0.17	1	-	4h以上	刷毛 ローラー スプレー
3	上塗1	ボンフロン水性SRラストコートⅡ	清水 0	0.08 ~ 0.12 0.09 ~ 0.13	1	-	-	刷毛 ローラー スプレー
合 計				3				

注1) 標準所要量については、各種施工方法の塗着効率を下記として算出しております。

施工種	塗着効率 (%)
刷毛, ローラー	80~100
エアレススプレー	60~80

標準所要量をしたまわらないでください。

- 注2) ① ボンフロン水性ACガードコートは素地の吸い込み程度により、塗装回数を調節してください。素地の吸い込みが多い場合は2回塗装を行ってください。  
 ② 本材料は下地に含浸するのに時間がかかりますので塗装間隔は必ず守ってください。  
 ③ 本材料は、アルカリ成分と反応し分離する危険性がありますので下記の点に注意して下さい。  
 ・ローラー施工の場合は、開缶したら当日使い切るように下さい。  
 ・バケツで小分けし使用する場合は、残った材料は缶には戻さず廃棄して下さい。  
 ・使用したローラーは材料に漬け置きしないで下さい。

注3) 内外部で施工可能ですが、内部施工の場合は局所排気などの手段を講じて十分に換気を行ってください。

注4) 本工法は外壁等の垂直面への塗装には問題ありませんが、天端等の水平面は環境が厳しく垂直面に比べ早く劣化します。